



QRコードを読み取り、令和元年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



すわべ たかとし
諏訪部 孝敏 議員
(政経会)

自転車保険加入義務化の促進について

問 自転車保険への加入率促進と、市民の安全を確保するための安心して自転車を利用できる環境整備について伺う。

部長 自転車保険の保険加入率は把握できていない。毎月20日、交通安全協会富士宮地区支部の交通安全指導員を中心に、自転車通学の生徒に対して積極的な声かけをしながら交通指導を実施している。さらに、5月と10月の年2回、自転車マナー向上キャンペーンと題して、県下一斉に自転車登校している学校に対して交通指導を強化する日を設け、市としても広報活動を実施している。

使用済み紙おむつのリサイクルについて

問 環境省は来年度自治体に対し、使用済み紙おむつのリサイクルを促すガイドラインを作成する方針を固めたが、当市の方向性をどう考えるか伺う。

部長 環境省のガイドラインについては、まだ明確なものが示されていないが、高齢化社会の進展に伴い紙おむつは市場規模が年々拡大しており、今後清掃センターに負荷をかけるであろう品目として捉えている。現在市内の民間廃棄物処理施設で、使用済み紙おむつを定期的に回収し、焼却するときに発生する熱源を利用した発電の実証実験を行っており、今後実用化できることを期待している。

放置山林及び官地の樹木・雑草の管理について

問 大型台風や大災害時のリスク軽減のためにも、放置山林や空き地等の樹木を適切に維持管理することについて伺う。

部長 放置山林として明確な数字はないが、災害時のリスク軽減には、所有者がみずからの土地を適正に管理することが重要と考える。市としても官地の所有者として今後も引き続き適正な管理を行うことに努めていきたいと思う。



つじむら たける
辻村 岳瑠 議員
(政経会)

医療・福祉で輝くまちづくりについて

問 地域別の介護費用分析を提案する。見える化することで特性を活かした地域の介護事業につながるのではないかと。

部長 現状のシステムでは、集計する機能が無い。地域別介護費用分析の有効性とシステム改修にかかる費用対効果を見極めて今後研究していく。

問 医療施設の経営及び業務を改善するための第一歩は、待ち時間対策と言っても過言ではない。市立病院において患者さんの不満が多く寄せられている待ち時間対策、主に会計待ち時間について伺う。

部長 10月の会計待ち時間の平均は20分程度。短い方が10分。もっとも長い方で50分。会計の担当者は、計算の誤りがないかなどの確認を行

う。場合によっては、医師や看護師に内容確認を行うが、診察中で手が離せない場合などで、時間を要する場合がある。また、患者さんが会計に集中する時間帯には配置人数を増やすなどして対応している。あらかじめ会計の計算に時間を要する方には、その旨を説明している状況。

病院長 診察の待ち時間も大きな部分を占めている。一度病院全体として考え直し、何とか待ち時間をなるべく短くする対処をしたいと思う。しかし、やはり医療なので、緊急の患者さんや予定外のことも起こるため、ご理解いただけるよう情報提供していく。

移住・定住で輝くまちづくりについて

問 移住・定住ポータルサイトの働き先紹介に、福祉人材確保の意味からも福祉事業所の掲載を提案するがいかがか。

部長 福祉関連事業者の人材確保につながると思う。庁内関係部門とともに福祉事業団体と調整を図っているところである。